

こんにちは

西  学校です

見附市立西中学校  
学校だより

令和5年10月19日

第10号

## なぜ、誹謗・中傷？ 言葉の豊かな使い手に

校長 水戸 巖

これまでも何度か触れてきましたが、6月と10月を新潟県では「いじめ見逃しゼロ強調月間」としてしています。10月は、全校朝会での校長講話の時間設定が難しいので、紙面にて生徒たちにメッセージをおくりました。ネットによる誹謗中傷の話題提供です。

\* \* \* \* \*

先日、見附図書館を訪れたところ、新刊コーナーに『中学校の授業でネット中傷を考えた』（宇田川はるか著・講談社）が目にとまり、手に取りました。

スマイリーキクチ中傷事件を題材にした開成中での授業と、木村花さんの母・響子さんが千葉県の奈良輪小学校での授業を取材し、紹介した本でした。

さて、みなさんはスマイリーキクチさんというお笑い芸人をご存じでしょうか。「くりーむしちゅう」「爆笑問題」「ネプチューン」「アンタッチャブル」などの「ボキャブラ世代」と呼ばれる芸人の一人です。

このスマイリーキクチさんは、1999年に実際におきた凶悪な殺人事件の共犯者に仕立て上げられ、犯人一覧の中に本名が書きこまれました。「殺人犯 スマイリーキクチ」がネット上に広がり、それを鵜呑みにした不特定多数の人物から誹謗中傷や殺害予告などが書き込まれました。事実無根だと否定をしても、「やっていない証拠をだせ」「人殺しがウソついているんじゃないか」という反応ばかり、10年以上この状況が続いたそうです。理解のある刑事さんと出会い、書き込みをしたうちの19名の身元が判明したそうです。しかし、「正義感でやった」と主張したり、「実名報道しない少年法が悪い」「ネットにデマを描いたヤツが悪い」などと言い張ったりしていたとのこと。

教育雑誌の記事（「今どきスマホ・ネット事情」）の中で、スマイリーキクチさんは、「どんなに犯人が許せなくても、中傷や個人情報などをネットにさらす行為はいけません。本人は正義感や報復のつもりでも、名誉棄損や脅迫などの犯罪になるからです」と主張しています。

このスマイリーキクチさんの著書『突然、僕は殺人犯にされた』を題材にした授業が先に紹介した本に書かれていました。開成中学の神田先生の授業です。神田先生は、この本を課題図書にし、次の3つの問いを生徒たちに投げかけ話し合いやレポート作成に取り組みました。

- ① 「スマイリーキクチ中傷事件」を引き起こした要因について、君の思うところを論ぜよ。
- ② インターネットの匿名性について、君の思うところを論ぜよ。
- ③ スマイリーキクチさんからの中傷原因となった投稿の削除依頼に



対して、掲示板管理者は「事実無根を証明しなければ削除には応じません」と答えている。この「事実無根を証明しなければ削除しない」という論理について、君の思うところを論ぜよ。

皆さんは、どんなことを感じるでしょうか。

もう1つです。木村花さんを知っているでしょうか。悪役の女子プロレスラーで、TV番組の『テラスハウス』出演時の言動をめぐり、SNS上で誹謗中傷を受け、自殺を凶ったとされる人です。このお母さん・響子さんが小学校で授業を行っています。授業の導入で取り上げられた資料（絵本）は『パパのしごとはわかるものです』（岩崎書店）。悪役レスラーが「パパ」の仕事だと知った「ぼく」が、困惑し、混乱しながらも、観客をわかせようという「パパ」の仕事への情熱や誇りを受け入れていく物語です。そして、スクリーンにまず響子さんが映したのは、こんな言葉だった。

お前の試合はつまらない／卑怯なことばかりするな／顔が気持ち悪い／性格がくそ／死んでほしい、消えろ／男みたい／お前の家族を夜道でおそうぞ

児童に語りだした。「何で悪者って悪いことをすると思いますか？ 悪者の仕事って、お客さんに『正義の味方』を応援してもらうようにすることなんです。その方が盛り上がるから。だから、会場でお客さんから『卑怯なことするな』と言われるのは、悪役の仕事のうち。それでよかったんです。

なんでそれが崩れたかというところ…。」響子さんはこう続けます。「SNSです」・・・さらに「なぜ誹謗中傷してしまうのか」と語りかけます。花さんが響子さんの娘であることを告げ、「みんなにまずやってほしいことは、こと。」と語ります。皆さんは、どう答えるでしょうか。これをきっかけに考えてみましょう。

\* \* \* \* \*

開成中での神田先生の授業では、生徒たちの反応には、「匿名」と「集団」が及ぼす影響を述べたもの、承認欲求について述べたもの、厳罰化について述べたもの、正しい教育について述べたものがあったとのこと。そして、木村響子さんのメッセージのには、「本を読む」が入ります。その背景には、「いろんな言葉を知ってほしい。自分のもやもやした気持ちを『死ぬ』とか『キモい』とかではなく、本当は傷ついていたただとか、怒っている理由があればもっと優しい言葉で人に分かるように伝えることができると思うんです。全員が全員それをやったら、誹謗中傷はなくせるんです。」という思いがあるようです。

これを題材にいじめや誹謗・中傷を考えるきっかけになればと思います。

## 新人陸上・中越駅伝も頑張りました！



### 見事、入賞！

【陸上部】 男子200m 8位   
4×100mR 7位

10月4日に開催された長岡地区・県央地区新人陸上。そして12日に開催された中越駅伝で、それぞれ自己ベストを目指し、来年につながるパフォーマンスを見せてくれました。